

定例的な行事は下に記載しています。

日	曜	行 事	時 間	場 所	問い合わせ先等
1	↓				
		大久保小振替休業日	終日	大久保小	同左☎85-1100
2	火	ゴールデンウィーク企画「息軒クイズラリー」 7日まで	9:00~16:00	安井息軒記念館	同左☎84-0234 ※当日随時受付
		子ども一時預かりボランティア「リフレッシュきよたけ」【要予約】	10:00~12:00	清武総合福祉センター	市社協清武支所☎55-6207
		ペップスポーツ教室	10:00~11:00	清武地域子育て支援センター	同左☎84-2380※事前申込要(1歳4ヶ月~8組)
		弁護士無料法律相談【要予約】	13:30~15:30	清武総合福祉センター	市社協清武支所☎55-6207
3	水	フェスタ工作(おしゃれキャンドル)	13:00~15:00		
4	木	フェスタ工作(針金ブローチ)	13:00~15:00	きよたけ児童文化センター	同左☎85-6811※定員20名、参加費無料、最終受付13:30
5	金	フェスタ工作(かざくるま)	13:00~15:00		
6	~	11			
12	金	行政相談	9:30~12:00	清武総合支所5階5B会議室	宮崎行政相談センター☎24-3370
		人権相談	10:00~15:00		宮崎地方務局人権擁護課☎22-5124
		わらべうた	10:00~11:00	清武地域子育て支援センター	同左☎84-2380※事前申込要(0歳児 8組)
		春の校外学習1年~4年、6年		清武小	同左☎85-1011
13	土	息軒会読「弁妄」詳解 第3回	13:30~15:00	安井息軒記念館	同左☎84-0234※事前申込要、当日まで可
14	日	きよたけはんきゅう軽トラ市	9:00~12:00	清武文化会館前通り	清武町商工会 ☎85-0173
15	↓				
16	火	園開放	10:30~11:30	清武幼稚園	同左☎85-5335
		清武小交通教室(1年~3年、4年~6年)		清武小運動場	同左☎85-1011
17	水	はじめての手話	10:00~11:00	清武地域子育て支援センター	同左☎84-2380※事前申込要(7組)
		大久保小避難訓練(風水害)	13:30~14:15	大久保小	同左☎85-1100※保護者への引渡し訓練
18	木	子ども一時預かりボランティア「リフレッシュきよたけ」【要予約】	10:00~12:00	清武総合福祉センター	市社協清武支所☎55-6207
19	金	赤ちゃんひろば	10:00~11:00	清武地域子育て支援センター	同左☎84-2380※事前申込要(0歳児 8組)
		おたのしみ工作	15:30~17:00	きよたけ児童文化センター	同左☎85-6811
20	土	息軒会読「弁妄」詳解 第4回	13:30~15:00	安井息軒記念館	同左☎84-0234※事前申込要、当日まで可
21	日	舞踊のつどい	13:00~16:00	文化会館半九ホール	宮崎市芸術文化連盟清武支部 宮路☎090-3666-1798
22	↓				
23	↓				
24	水	音楽パーク	10:00~11:00	清武地域子育て支援センター	同左☎84-2380※事前申込要(1歳~8組)
25	↓				
26	金	大久保小春の遠足		大久保小	同左☎85-1100※学年ごとに計画・解散
27	土	息軒会読「弁妄」詳解 第5回	13:30~15:00	安井息軒記念館	同左☎84-0234※事前申込要、当日まで可
28	↓				
29	月	加納中避難訓練(地震)		加納中	同左☎84-2121
30	火	せいりゅう支援学校と清武小の交流(4年)	9:15~10:55	清武小体育館	同左☎85-1011
		誕生会	10:00~11:00	清武地域子育て支援センター	同左☎84-2380※誕生者のみ事前申込要(他の方は自由参加)
31	水				

このマークがついている行事は、裏面(お知らせ)に掲載しています。

>>> 裏面(お知らせ)

清武児童文化センター定例行事(この行事は上の欄には記載していません)

えいごで遊ぼう① 毎週 火 15:30~16:10(自由参加) 音楽教室 第2・4 土 9:30~11:30

あみあみクラブ 第2・3・4 木 16:00~17:00 ちくちくクラブ 第2・4 水 16:00~17:00 風船パレー 第2・4 金 16:00~17:00

おもちゃ広場 毎週 木 10:00~12:00 おもちゃ広場(おもちゃいっぱいの日) 第1・第3 日 10:00~15:00

清武地域子育て支援センター休館 第2木午後・第2火午後



# お知らせ



第74号

清武地域子育て支援センターからのお知らせ  
お問合せ先 ☎84-2380

- ★音楽パーク（事前申込みが必要です）
- ◆日 時 5月24日(水) 10時～11時
- ◆会 場 清武地域子育て支援センター
- ◆対 象 1歳～ ◆定 員 8組

久しぶりの音楽パークです。みんなで音楽あそびを楽しみましょう。

きよたけ児童文化センターからのお知らせ  
お問合せ先 ☎85-6811

ゴールデンウィークに工作を楽しもう

- 1)フェスタ工作(おしゃれキャンドル)
    - ◆日 時 5月3日(水) 13時～15時
  - 2)フェスタ工作(針金ブローチ)
    - ◆日 時 5月4日(木) 13時～15時
  - 3)フェスタ工作(かざぐるま)
    - ◆日 時 5月5日(金) 13時～15時
- 上記の1)～3)については、次のとおりです。
- ◆会 場 きよたけ児童文化センター
  - ◆対 象 4歳～小学生 ※未就学児は保護者同伴
  - ◆定 員 20組 ◆参加費 無料
  - ◆申込締切 当日の13:30まで

市社会福祉協議会清武支所からのお知らせ  
お問合せ先 ☎55-6207

- ★筋力向上トレーニング事業 6月基礎コース生の募集
- マシンを使ってパワーリハビリテーション運動を行います。
- ◆期 日 6月2日～6月27日までの毎週火・金(全8回)
- ◆時 間 13時～14時(約1時間)
- ◆会 場 清武総合福祉センター
- ◆料 金 1回300円 ◆定 員 6名限定
- ◆対象者 ①市内在住の60歳以上の方  
②マシントレーニングに支障のない身体機能の方  
※事前に看護師による問診を行います。
- ◆申込方法 電話又は社協清武支所の窓口にて受付
- ◆募集期間 5月1日～5月17日  
先着順(定員になり次第終了)

## おことわり

新型コロナウイルスの感染状況によっては、掲載している行事等の変更がありますので、各主催者に確認していただきますようお願いいたします。

お知らせ 本報は宮崎市のホームページにも掲載しています。

## 清武町史を販売しています。

清武町制施行60周年事業として取り組み、合併特別区事業として引き継ぎ制作した『清武町史』を販売しています。

通史編(2冊組) 7,000円  
資料編(3冊組) 10,000円

※2冊組、3冊組のみの販売。分冊での販売はありません。  
詳細は、清武総合支所地域市民福祉課(☎85-1111)へお問合せください。

安井息軒記念館からのお知らせ  
お問合せ先 ☎84-0234 FAX84-2634  
メール sokken.yasui@pic.bbq.jp

- 1)息軒ゴールデンウィーク企画  
記念館の展示や館周辺、旧宅などを巡り、問題に答えて景品をゲットしましょう。
  - ◆期 間 4月29日(土)～5月7日(日)
  - ◆時 間 9時～16時30分 ※入館は16時まで
  - ◆対 象 小・中学生
  - ◆会 場 安井息軒記念館及び周辺
- 2)息軒会読 第3回、第4回、第5回
  - ◆テーマ 「『弁妄』詳解」
  - ◆講 師 青山 大介(安井息軒記念館学芸員)
  - ◆期 日 第3回 5月13日(土)  
第4回 5月20日(土)  
第5回 5月27日(土)
  - ◆時 間 13時30分～15時
  - ◆会 場 安井息軒記念館 研修室
  - ◆定 員 40名(当日まで受付可) ◆受講料 無料

## 歴史ピックアップ in きよたけ

稲津掃部助重政(いなづ かものすけ しげまさ) その1  
※説明文では「重政」と表記します。

天正16年(1588年)に伊東家再興後、編成されて間もない家臣団を統率する中で、伊東祐兵(いとうすけたけ)は当主としての権力を強化する必要にかられ、側近として若く有能な稲津重政を登用しました。

重政は19歳で朝鮮の戦いに従軍すると、しばしば戦いで手柄をたてました。やがて小姓から登用され、祐兵の晩年には家老と清武城主を兼務、伊東家内において、権勢を振るいました。

朝鮮での戦いの約1年後、豊臣秀吉はこの世を去りました。多くの大名たちが政権に対する不安を抱える中、豊臣恩顧の大名たちは、石田三成ら5奉行に味方する上杉景勝、小西行長らと5大老の筆頭・徳川家康に味方する福島正則、加藤清正、細川忠興、黒田長政(黒田官兵衛孝高の息子)らに分かれて対立するようになりました。

伏見滞在中の伊東祐兵は、次期政権をにらんで1599年春に黒田長政と共に徳川家康家臣 井伊直政を介して家康への面会を果たしています。

慶長5年(1600年)天下分け目の関ヶ原合戦は、徳川家康が豊臣家の筆頭家老として、上杉景勝に上洛を促したことに端を発しています。

家康の出陣に、遠隔地である南九州の島津義弘、豊久、相良頼房、高橋元種、秋月種長、伊東祐兵らは間に合わず、彼らが上方に到着した時には、石田三成が挙兵した後で、西軍の陣営に参陣せざるをえなくなりました。

伊東祐兵は6月に兵を率いて上洛しましたが、西軍から嫡子 祐慶(すけのり)を大阪城に人質として召し上げられ、西軍への参陣を求められて、困った状況になりました。

その上、祐兵自身が7月14日から病に倒れ、東軍としても西軍としても行動を示すことができなくなりました。未曾有の危機に直面する中、病床にあった祐兵は、日頃から信頼を寄せる中津城の黒田官兵衛孝高(くろだかんべいよしたか)に、数度にわたって使者を派遣して助言を仰ぎました。